

イオンが推進するサーキュラーエコノミー



イオン株式会社は全国で「イオン」「ダイエー」「ウエルシア」など多様な事業会社を展開する小売業グループ。プライベートブランド(PB)「トップバリュ」では、商品の企画・開発から販売までを一貫して手掛けている。環境配慮への取り組みとして、グループ全体でPB商品の環境配慮型への切り替えを進めるとともに、店頭での資源回収を通じて、商品の使用後も資源を循環させる仕組み構築を推進している。

商品開発から店頭回収まで、グループ全体で挑むサーキュラーエコノミー

イオングループでは、プライベートブランド「トップバリュ」全商品で環境配慮商品への取り組みを推進している。具体的には、イオントップバリュでは、リデュース・リユース・リサイクルの取り組みをわかりやすく伝える自主マーク「トップバリュ環境配慮(3R)マーク」の基準設定と表示、FSC®認証※1、MSC認証、ASC認証、有機JAS認証、国際フェアトレード認証、レインフォレスト・アライアンス認証※2、RSPO認証などの第三者認証の活用によるサステナブルな原材料への取り組み、その他、製造プロセスや物流プロセス、包装資材において環境への配慮を推進している。これにより、商品の企画・調達・製造・包装・配送といったサプライチェーン全体において、環境負荷低減を組み込んだ商品づくりを進めている。資源循環の取り組みとしては、店舗にグループ共通の資源回収拠点「つなぐステーション」を設置し、使用済みペットボトルや食品トレーなどの資源回収を実施している。回収された資源は再生原料として新たな商品やパッケージに活用される仕組みとなっており、店舗を起点とした資源循環のプロセスをお客さまに分かりやすく可視化している。さらに、資源回収拠点の配置を地域単位で最適化し、回収・輸送・再資源化までを一体で設計することで、物流コストや環境負荷の低減といった経済合理性を両立した地域循環モデルの構築を目指している。また、2030年度までにパーজনプラスチック使用量を2018年度比で30%削減する目標を掲げ、商品設計と資源循環の両面から持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めている。

✓ 消費者へのサーキュラーエコノミーの伝え方

イオンではお客さまが日常生活の中で資源回収に参加できるように、店頭の資源回収場所を「つなぐステーション」と位置づけ回収した資源が商品に再生される工程をホームページ・店頭ポスター・デジタルサイネージ等で分かりやすく伝えている。

さらに、ナショナルブランド(NB)メーカーと連携した啓発イベント「えらぼう。」フェアを年2回開催。2025年度は一部の店舗においてVRを用いたリサイクルトレー循環プロセスの体験展示のほか、お子さま向けに資源分別を学ぶ体験型ゲームを通じて正しい分別への理解を促した。お子さまがゲームを楽しんでいる間に、保護者には回収後の再生トレー(トレーTOトレー)への転換や、リサイクル工場での障がい者雇用による社会的意義を説明し、循環への理解を深める取り組みを行った。

イベント期間中には、食品トレーの裏面に分別回収を呼びかけるデザインを施した食品トレーを使用した商品も販売した。ペットボトルや牛乳パックの実物展示を交えて資源物の国内循環を具体的に紹介することで、お客さまの資源回収への意欲向上に繋げている。



✓ 作り手(製造事業者)へのサーキュラーエコノミーの伝え方

トップバリュ商品は、イオントップバリュ株式会社が商品仕様を決定し、その仕様に基づいて製造委託先と協議・調整。商品開発の要件として環境配慮の視点を取り入れ、包材の薄肉化(リデュース)や再生材の使用などを製造委託先と共に推進している。

効率的かつ経済合理性のある資源循環を実現するため、地域単位での循環モデル構築を目指し、リサイクラーの選定を行う。小売とメーカーが一体となって消費者の循環への参加を促進していくことが重要だと考えている。

イオン株式会社 サークュラーエコノミーPT

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1

URL: <https://www.aeon.info/>

※1 FSCライセンスコード FSC®C005942 ※2 詳しくは、ra.org/ja を確認ください